

## 関連資料

(ICT の活用に関連する報告書・事例集等)

1. ICT 活用について	1
2. 情報モラルについて	5
3. 著作権について	6
4. 発達障害のある子供たちのためのICT活用について	7
5. 教師の ICT 活用指導力向上について	8
6. 健康への留意について	9
7. ICT 環境整備について	10
8. 教育情報セキュリティについて	13
9. 教育の情報化に関する手引	14

# 1. ICT活用について

## ○ 先導的な教育体制構築事業報告書（平成28年度）



### 【目次】

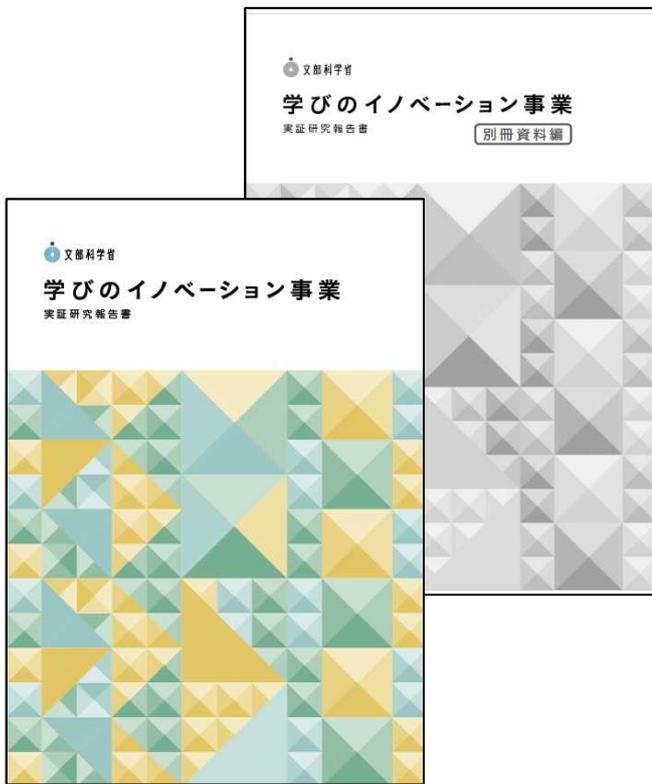
- 第1部 新たな学び実現のための取組
  - 第1章 教育の情報化による新たな学びの実現
  - 第2章 本事業における新たな学びを取り巻く状況
  - 第3章 新たな学びの実践
  - 第4章 学校と家庭との連携
  - 第5章 学校間や地域との連携
  - 第6章 支援体制
  - 第7章 教育効果
  - 第8章 デジタル教材の開発・活用
- 第2部 新たな学びの実践事例

### 【ページ例】



# 1. ICT活用について

## ○ 学びのイノベーション事業実証研究報告書（平成25年度）



### 【目次例】（実証研究報告書より）

- 第1章 教育の情報化と新たな学びの創造
- 第2章 小学校、中学校における取組
- 第3章 特別支援学校における取組
- 第4章 ICTを活用した指導方法の開発
- 第5章 学習用デジタル教科書・教材の開発
- 第6章 ICTを活用した教育の効果
- 第7章 ICT活用の留意事項
- 第8章 今後の推進方策

### 【ページ例】

#### 4 教員のICT活用指導力の向上策

実証校からの報告をもとに、小学校、中学校に共通する、教員のICT活用指導力を高めるための様々な取り組みや効果、課題について整理した。

4-1 教員のICT活用指導力

全ての実証校で、各種の研修会を通じて以下のとおりである。

研修形態等	各実証校
各種研修会の実施	「教員ICT活用指導力向上研修」
教員間の情報共有	「ICT活用指導力向上研修」
有志者による指導力向上	「ICT活用指導力向上研修」
公開授業の実施、授業の参入	「ICT活用指導力向上研修」
その他	「ICT活用指導力向上研修」

① 事例1: 各種研修会の実施

機器操作等に習熟させ、その効果や課題、ICT機器の操作方法やデジタル教材メーカーやICT担当教員等が講師となる研修に加え、必要に応じて希望制のミニ会を開くことができ、学校全体でICT活用

#### C1 発表や話し合い

学習課題に対する自分の考えを、電子黒板等を用いて、学習課題全体に分かりやすく提示して、発表・話し合いを行う

##### ICT活用のポイント

1. 情報端末や電子黒板等を用いて、個人の考えを整理し、表現力を培ったり、多角的な見方・考え方に促したりする
2. 情報端末を使ってテキストや動画で表現や考えを記録し合うことにより、新たな表現や考えへの気づきを得る

##### 具体的な学習場面

▶ 計算のきまり

▶ 次台の...

▶ ここには、きつといるよ

▶ 話したい...

#### 導入 A1

学習課題の提示

ICT活用指導力の向上策

授業の展開 B4 C3

まとめ C1

学習課題の提示

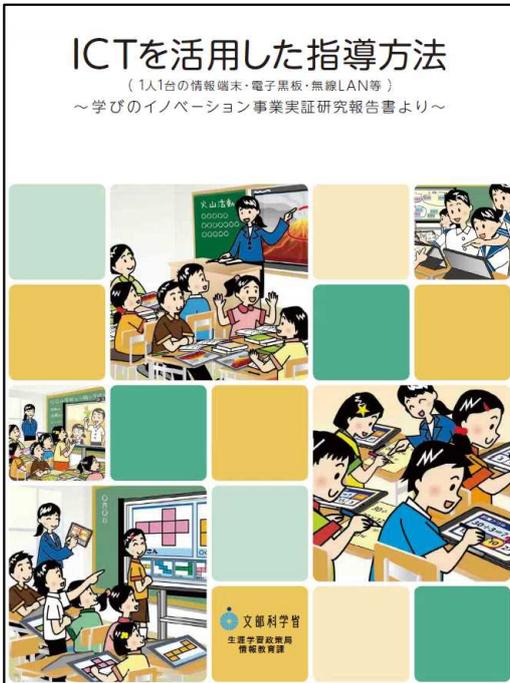
ICT活用指導力の向上策

授業の展開 B4 C3

まとめ C1

# 1. ICT活用について

○ ICTを活用した指導方法（1人1台の情報端末・電子黒板・無線LAN等）  
～学びのイノベーション事業実証研究報告書より～



## 【目次】

1. 本資料について
2. 学習場面に応じたICT活用事例
3. 各教科等における指導の実践事例

## 【ページ例】

**B3 思考を深める学習**  
シミュレーションなどのデジタル教材を用いた試行により、考えを深める学習を行う

**ICT活用のポイント**

1. デジタル教材を用いて、学習課題の執行を容易に繰り返すことにより、学習課題への関心が高まり、理解を深めることが可能となる。
2. デジタル教材のシミュレーション機能や動画コンテンツ等を用いることにより、通常では難しい実験・試行を行うことが可能となる。

具体的な学習場面

**▶形や色を楽しもう**  
教科書とタブレット端末を用いた学習の様子

**▶三方の定規の利用**  
算数科の授業の様子

**2 学習場面に応じたICT活用事例**

「一斉学習」「個別学習」「協働学習」それぞれの学習場面ににおいて、ICTを活用した事例及び学習場面におけるICT活用のポイント概要は以下のとおりです。

A 一斉学習	B 個別学習	C 協働学習
<p><b>A1: 教員による教材の提示</b></p> <p>デジタル教材などの活用により、自らの疑問について深く調べることや、自分に合った進度で学習することが容易となる。また、一人一人の学習意欲を把握することにより、個々の理解や関心の程度に応じた学習を提案することが可能となる。</p>	<p><b>B1: 思いに応じる学習</b></p> <p>一人一人の異なる学習進度に応じた学習</p> <p><b>B2: 動画活用</b></p> <p>パソコンやタブレット端末を用いた動画教材、電子黒板等による授業</p>	<p><b>C1: 発表や話し合い</b></p> <p>グループでの発表、話し合いによる学習の深化</p> <p><b>C2: 協働での発見学習</b></p> <p>授業の発表・考えを深めて学習</p>
<p><b>B3: 思考を深める学習</b></p> <p>シミュレーションなどのデジタル教材を用いた試行による学習</p>	<p><b>B4: 発表・制作</b></p> <p>マルチメディアを用いた発表、制作の制作</p> <p><b>B5: 異地学習</b></p> <p>資料共有の持ち寄りによる異地学習</p>	<p><b>C3: 協働制作</b></p> <p>グループでの発表、話し合いによる学習の深化</p> <p><b>C4: 学校の壁を越えた学習</b></p> <p>遠隔地や海外の学校等との交流学習</p>

**導入 A1**

**授業開始の準備**

「授業」を開始した、自分たが自分たの準備の準備の準備を準備する。

**ICT活用ポイント: 導入**

自分たが自分たの準備の準備の準備を準備する。準備の準備の準備を準備する。

**電子黒板・コンテンツ**

電子黒板  
学習教材  
学習教材

**ICT活用ポイント: 協働学習**

デジタル教材・教材のワークシートを準備する準備の準備の準備を準備する。準備の準備の準備を準備する。

**ICT活用ポイント: 協働学習**

自分たが自分たの準備の準備の準備を準備する。準備の準備の準備を準備する。

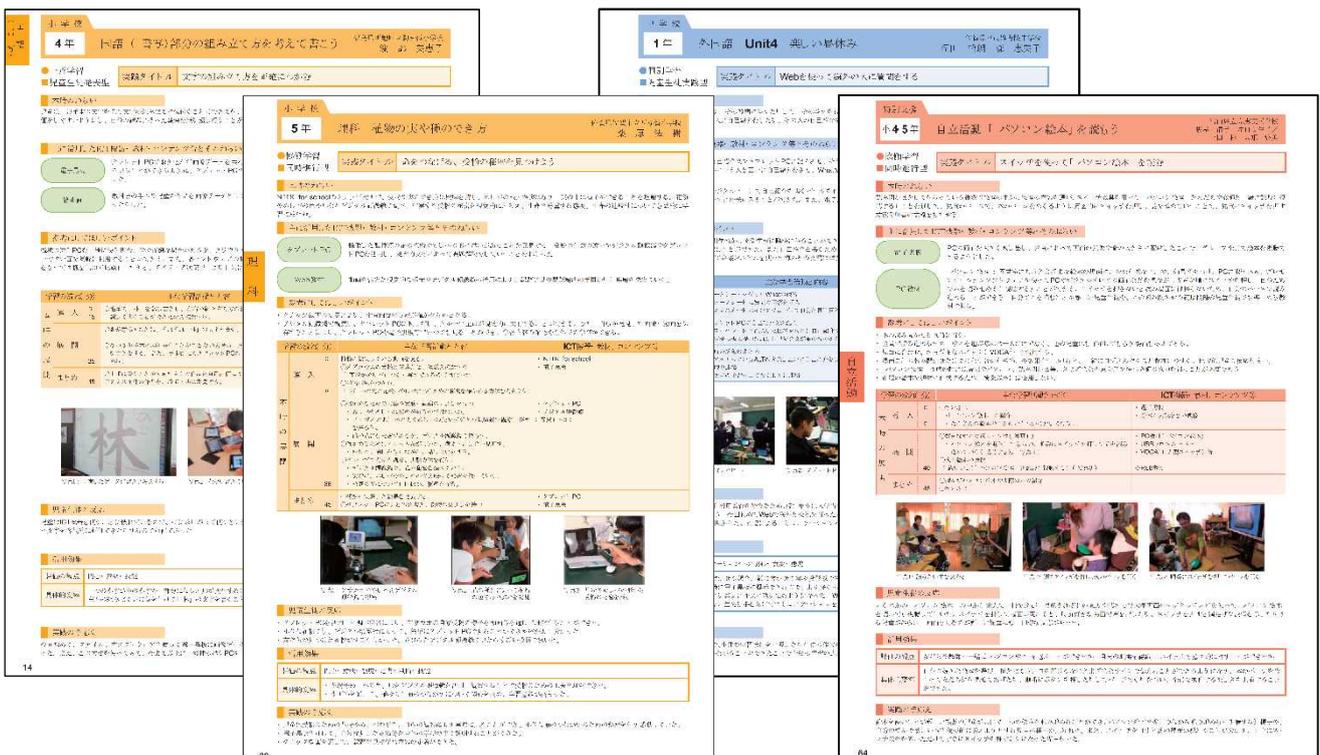
# 1. ICT活用について

- 教育ICT活用事例集（平成23年度）（小・中・高等学校、特別支援）
- 教育ICT活用事例集（平成24年度）（小・中・高等学校、特別支援）



- 【目次例】（平成24年度版より）
- ・ 「国内のICT教育活用好事例の収集・普及・促進に関する調査研究事業」「教育のICT活用実践事例集」について
  - ・ 実践事例の特徴・傾向分析
  - ・ ICT教育活用事例映像集 紹介
  - ・ 教育ICT活用実践事例 凡例
  - ・ 地方公共団体（教育委員会等）の事例

## 【ページ例】

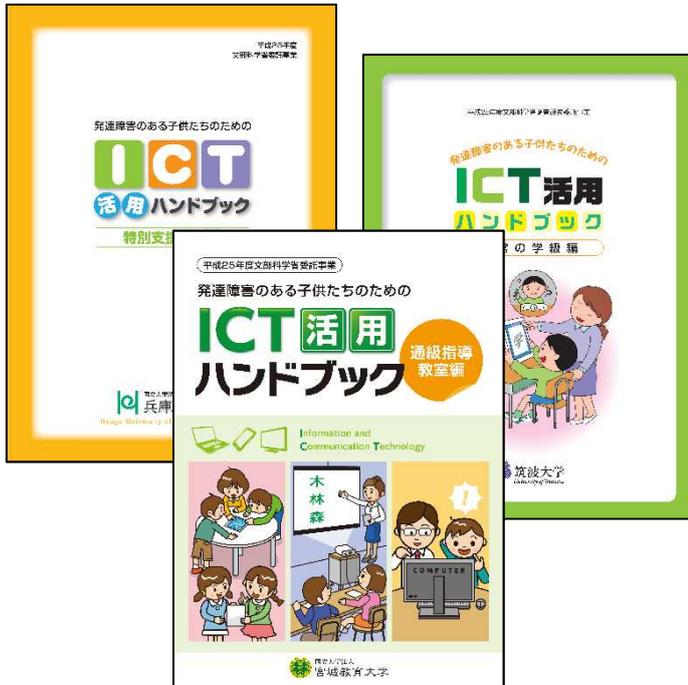






# 4. 発達障害のある子供たちのためのICT活用について

- 発達障害のある子供たちのためのICT活用ハンドブック（特別支援学級編）
- 発達障害のある子供たちのためのICT活用ハンドブック（通級指導教室編）
- 発達障害のある子供たちのためのICT活用ハンドブック（通常の学級編）



**【目次例】**（特別支援学級編より）

- 第1章 はじめに～発達障害とICTについて～
- 第2章 教員が抱える悩みを解決しよう～特別支援学級におけるICT活用事例～
- 第3章 教員がICTを効率的に学ぶために～ICTの効率的な研修方法について～

## 【ページ例】

**ICT活用ハンドブック ～特別支援学級編～ のコンセプト**

**II 実践事例**

**1-3 作文を書くことの困難さに対する支援①**  
映像や画像を活用して、表現する内容を整理しやすくする

**対象の子供について**

- 小学4年生
- 読字に困難をきたす傾向がある
- 文章を書くことに苦痛を感じる
- 作文の構成が整理できていない

**指導のねらい**

- 自分の考えを整理し、表現しやすくする
- 映像や画像を活用して、表現する内容を整理しやすくする

**実践のねらい**

- 自分の考えを整理し、表現しやすくする
- 映像や画像を活用して、表現する内容を整理しやすくする

**実践の手立て**

- タブレットPCの機能を活用して、自分の考えを整理し、表現しやすくする
- 自分の考えを整理し、表現しやすくする

**今後の課題、留意点**

- 実践が長期的な取り組みであること
- 実践が長期的な取り組みであること

**1.4 集団と個への配慮、学級経営上の留意点**

**実践の**

1. ICT機器をすべての子供に活用する
2. ICT機器を教材の1つの選択肢とする
3. ICT機器を活用する際の留意点

**子供の反応及び**

児童の反応は、ICT機器を活用することで、自分の考えを整理し、表現しやすくすることができた。また、ICT機器を活用することで、自分の考えを整理し、表現しやすくすることができた。

**子供たち一人一人の**

児童の反応は、ICT機器を活用することで、自分の考えを整理し、表現しやすくすることができた。また、ICT機器を活用することで、自分の考えを整理し、表現しやすくすることができた。

**3.1 通常の学級へのICT機器の導入**

**教室内でのICT環境づくり**

ICTを活用して授業を行うには、教室内の環境づくりが重要である。ここでは、タブレットPCやスマートフォンの導入、ネットワーク環境の整備、電源の確保などが求められる。

**タブレットPCの活用**

タブレットPCを活用することで、児童の学習意欲が向上し、授業の効果が向上する。また、タブレットPCを活用することで、児童の学習意欲が向上し、授業の効果が向上する。

**電源の確保**

電源の確保は、ICT機器を活用するための重要な要素である。電源の確保は、ICT機器を活用するための重要な要素である。

**ICT機器を使った学習環境の整備**

ICT機器を使った学習環境の整備は、ICT機器を活用するための重要な要素である。電源の確保は、ICT機器を活用するための重要な要素である。

# 5. 教師のICT活用指導力について

## ○ 校内研修リーダー養成のための研修手引き（平成26年度）

平成26年度文部科学省委託事業  
「ICTを活用した教育の推進に資する実証事業」  
教員のICT活用指導力向上方法の開発

### 校内研修リーダー養成のための研修手引き



### 【目次】

はじめに～本研修の手引きについて～

#### I 章 モデルカリキュラムの活用にあたって

- 1 節 モデルカリキュラムの内容と特色
- 2 節 地域の実状に応じた研修カリキュラムの作成
- 3 節 外部との連携による効果的な研修カリキュラムの実施

#### II 章 研修カリキュラムの効果的な実施のために

- 1 節 研修期間による「校内研修リーダー」養成研修の企画・実施にあたって
- 2 節 「校内研修リーダー」が効果的な校内研修を実施できるようにするために  
おわりに

### 【ページ例】

#### II章 研修カリキュラムの効果的な実施のために

● ICTの活用と指導

ICTを活用した教育の有効性を検証する

1年目

ICTを活用した授業の導入を体験し、効果を検証する

2年目

ICTを活用した授業の導入を体験し、効果を検証する

ICTを活用した授業の導入を体験し、効果を検証する

● 研修計画の策定

目的が定まれば、本格的な研修計画の策定を行います。研修計画の策定にあたっては、まず、目標設定をするために「いつ（時期）」「どこで（場所）」「だれが（講師）」「何を（内容）」「どのように（使用機器、形態、方法等）」「いくらで（費用）」やるのかを年間計画として整理します。

● 院際を越えた計画を作る

研修期間を通して、「何を」「どの程度」まで習得させるかということを明らかにし、「院内研修リーダー」が目的意識をもって積極的に参加できるようにします。そのためにも、1年の計画で多くの習得を促さなければなりません。目標を個人目標にするような計画を立てます。

#### ● 参考資料

##### ● 「校内研修リーダー」養成研修アンケート様式例

学校名：○○○○○ 研修アンケート調査員：○○○

前記の研修をお受けください。

氏名	性別	年齢	所属
山田 太郎	男	35	教員
田中 花子	女	32	教員
佐藤 一郎	男	38	教員
鈴木 美穂	女	30	教員
高橋 健太	男	33	教員
渡辺 真由	女	31	教員
中村 大輔	男	34	教員
小林 千恵	女	29	教員
加藤 拓也	男	36	教員
山崎 由香	女	37	教員
水野 浩二	男	39	教員
森田 結衣	女	28	教員
石川 隆夫	男	40	教員
木村 愛子	女	34	教員
伊藤 健一	男	36	教員
斎藤 美咲	女	31	教員
高木 大輔	男	35	教員
橋本 千穂	女	33	教員
吉岡 拓也	男	37	教員
山本 由香	女	32	教員
水野 浩二	男	38	教員
森田 結衣	女	30	教員
石川 隆夫	男	39	教員
木村 愛子	女	34	教員
伊藤 健一	男	36	教員
斎藤 美咲	女	31	教員
高木 大輔	男	35	教員
橋本 千穂	女	33	教員
吉岡 拓也	男	37	教員
山本 由香	女	32	教員
水野 浩二	男	38	教員
森田 結衣	女	30	教員
石川 隆夫	男	39	教員
木村 愛子	女	34	教員
伊藤 健一	男	36	教員
斎藤 美咲	女	31	教員
高木 大輔	男	35	教員
橋本 千穂	女	33	教員
吉岡 拓也	男	37	教員
山本 由香	女	32	教員
水野 浩二	男	38	教員
森田 結衣	女	30	教員
石川 隆夫	男	39	教員
木村 愛子	女	34	教員
伊藤 健一	男	36	教員
斎藤 美咲	女	31	教員
高木 大輔	男	35	教員
橋本 千穂	女	33	教員
吉岡 拓也	男	37	教員
山本 由香	女	32	教員
水野 浩二	男	38	教員
森田 結衣	女	30	教員
石川 隆夫	男	39	教員
木村 愛子	女	34	教員
伊藤 健一	男	36	教員
斎藤 美咲	女	31	教員
高木 大輔	男	35	教員
橋本 千穂	女	33	教員
吉岡 拓也	男	37	教員
山本 由香	女	32	教員
水野 浩二	男	38	教員
森田 結衣	女	30	教員
石川 隆夫	男	39	教員
木村 愛子	女	34	教員
伊藤 健一	男	36	教員
斎藤 美咲	女	31	教員
高木 大輔	男	35	教員
橋本 千穂	女	33	教員
吉岡 拓也	男	37	教員
山本 由香	女	32	教員
水野 浩二	男	38	教員
森田 結衣	女	30	教員
石川 隆夫	男	39	教員
木村 愛子	女	34	教員
伊藤 健一	男	36	教員
斎藤 美咲	女	31	教員
高木 大輔	男	35	教員
橋本 千穂	女	33	教員
吉岡 拓也	男	37	教員
山本 由香	女	32	教員
水野 浩二	男	38	教員
森田 結衣	女	30	教員
石川 隆夫	男	39	教員
木村 愛子	女	34	教員
伊藤 健一	男	36	教員
斎藤 美咲	女	31	教員
高木 大輔	男	35	教員
橋本 千穂	女	33	教員
吉岡 拓也	男	37	教員
山本 由香	女	32	教員
水野 浩二	男	38	教員
森田 結衣	女	30	教員
石川 隆夫	男	39	教員
木村 愛子	女	34	教員
伊藤 健一	男	36	教員
斎藤 美咲	女	31	教員
高木 大輔	男	35	教員
橋本 千穂	女	33	教員
吉岡 拓也	男	37	教員
山本 由香	女	32	教員
水野 浩二	男	38	教員
森田 結衣	女	30	教員
石川 隆夫	男	39	教員
木村 愛子	女	34	教員
伊藤 健一	男	36	教員
斎藤 美咲	女	31	教員
高木 大輔	男	35	教員
橋本 千穂	女	33	教員
吉岡 拓也	男	37	教員
山本 由香	女	32	教員
水野 浩二	男	38	教員
森田 結衣	女	30	教員
石川 隆夫	男	39	教員
木村 愛子	女	34	教員
伊藤 健一	男	36	教員
斎藤 美咲	女	31	教員
高木 大輔	男	35	教員
橋本 千穂	女	33	教員
吉岡 拓也	男	37	教員
山本 由香	女	32	教員
水野 浩二	男	38	教員
森田 結衣	女	30	教員
石川 隆夫	男	39	教員
木村 愛子	女	34	教員
伊藤 健一	男	36	教員
斎藤 美咲	女	31	教員
高木 大輔	男	35	教員
橋本 千穂	女	33	教員
吉岡 拓也	男	37	教員
山本 由香	女	32	教員
水野 浩二	男	38	教員
森田 結衣	女	30	教員
石川 隆夫	男	39	教員
木村 愛子	女	34	教員
伊藤 健一	男	36	教員
斎藤 美咲	女	31	教員
高木 大輔	男	35	教員
橋本 千穂	女	33	教員
吉岡 拓也	男	37	教員
山本 由香	女	32	教員
水野 浩二	男	38	教員
森田 結衣	女	30	教員
石川 隆夫	男	39	教員
木村 愛子	女	34	教員
伊藤 健一	男	36	教員
斎藤 美咲	女	31	教員
高木 大輔	男	35	教員
橋本 千穂	女	33	教員
吉岡 拓也	男	37	教員
山本 由香	女	32	教員
水野 浩二	男	38	教員
森田 結衣	女	30	教員
石川 隆夫	男	39	教員
木村 愛子	女	34	教員
伊藤 健一	男	36	教員
斎藤 美咲	女	31	教員
高木 大輔	男	35	教員
橋本 千穂	女	33	教員
吉岡 拓也	男	37	教員
山本 由香	女	32	教員
水野 浩二	男	38	教員
森田 結衣	女	30	教員
石川 隆夫	男	39	教員
木村 愛子	女	34	教員
伊藤 健一	男	36	教員
斎藤 美咲	女	31	教員
高木 大輔	男	35	教員
橋本 千穂	女	33	教員
吉岡 拓也	男	37	教員
山本 由香	女	32	教員
水野 浩二	男	38	教員
森田 結衣	女	30	教員
石川 隆夫	男	39	教員
木村 愛子	女	34	教員
伊藤 健一	男	36	教員
斎藤 美咲	女	31	教員
高木 大輔	男	35	教員
橋本 千穂	女	33	教員
吉岡 拓也	男	37	教員
山本 由香	女	32	教員
水野 浩二	男	38	教員
森田 結衣	女	30	教員
石川 隆夫	男	39	教員
木村 愛子	女	34	教員
伊藤 健一	男	36	教員
斎藤 美咲	女	31	教員
高木 大輔	男	35	教員
橋本 千穂	女	33	教員
吉岡 拓也	男	37	教員
山本 由香	女	32	教員
水野 浩二	男	38	教員
森田 結衣	女	30	教員
石川 隆夫	男	39	教員
木村 愛子	女	34	教員
伊藤 健一	男	36	教員
斎藤 美咲	女	31	教員
高木 大輔	男	35	教員
橋本 千穂	女	33	教員
吉岡 拓也	男	37	教員
山本 由香	女	32	教員
水野 浩二	男	38	教員
森田 結衣	女	30	教員
石川 隆夫	男	39	教員
木村 愛子	女	34	教員
伊藤 健一	男	36	教員
斎藤 美咲	女	31	教員
高木 大輔	男	35	教員
橋本 千穂	女	33	教員
吉岡 拓也	男	37	教員
山本 由香	女	32	教員
水野 浩二	男	38	教員
森田 結衣	女	30	教員
石川 隆夫	男	39	教員
木村 愛子	女	34	教員
伊藤 健一	男	36	教員
斎藤 美咲	女	31	教員
高木 大輔	男	35	教員
橋本 千穂	女	33	教員
吉岡 拓也	男	37	教員
山本 由香	女	32	教員
水野 浩二	男	38	教員
森田 結衣	女	30	教員
石川 隆夫	男	39	教員
木村 愛子	女	34	教員
伊藤 健一	男	36	教員
斎藤 美咲	女	31	教員
高木 大輔	男	35	教員
橋本 千穂	女	33	教員
吉岡 拓也	男	37	教員
山本 由香	女	32	教員
水野 浩二	男	38	教員
森田 結衣	女	30	教員
石川 隆夫	男	39	教員
木村 愛子	女	34	教員
伊藤 健一	男	36	教員
斎藤 美咲	女	31	教員
高木 大輔	男	35	教員
橋本 千穂	女	33	教員
吉岡 拓也	男	37	教員
山本 由香	女	32	教員
水野 浩二	男	38	教員
森田 結衣	女	30	教員
石川 隆夫	男	39	教員
木村 愛子	女	34	教員
伊藤 健一	男	36	教員
斎藤 美咲	女	31	教員
高木 大輔	男	35	教員
橋本 千穂	女	33	教員
吉岡 拓也	男	37	教員
山本 由香	女	32	教員
水野 浩二	男	38	教員
森田 結衣	女	30	教員
石川 隆夫	男	39	教員
木村 愛子	女	34	教員
伊藤 健一	男	36	教員
斎藤 美咲	女	31	教員
高木 大輔	男	35	教員
橋本 千穂	女	33	教員
吉岡 拓也	男	37	教員
山本 由香	女	32	教員
水野 浩二	男	38	教員
森田 結衣	女	30	教員
石川 隆夫	男	39	教員
木村 愛子	女	34	教員
伊藤 健一	男	36	教員
斎藤 美咲	女	31	教員
高木 大輔	男	35	教員
橋本 千穂	女	33	教員
吉岡 拓也	男	37	教員
山本 由香	女	32	教員
水野 浩二	男	38	教員
森田 結衣	女	30	教員
石川 隆夫	男	39	教員
木村 愛			

# 6. 健康への留意について

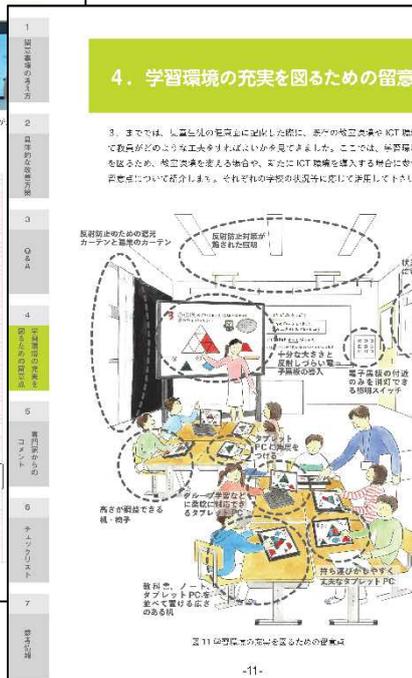
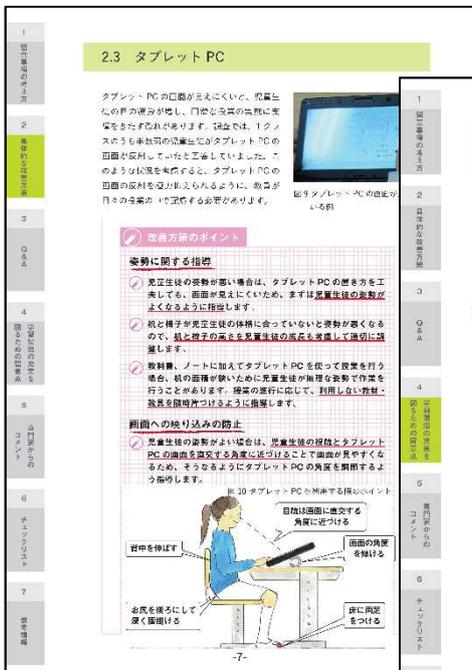
## ○ 児童生徒の健康に留意してICTを活用するためのガイドブック



### 【目次】

1. 留意事項の考え方
2. 具体的な改善策
  - 2-1 教室の明るさ
  - 2-2 電子黒板
  - 2-3 タブレットPC
3. Q & A
4. 学習環境の充実を図るための留意点
5. 専門家からのコメント
6. チェックリスト
7. 参考情報

### 【ページ例】



### 6. チェックリスト

具体的な改善策で示したポイントを、チェックリスト形式で整理しました。ICT標榜を使用した授業を実施する際に、参考にしてください。

区分	小分類	チェック項目
教室の明るさ	カーテンによる映り込みの防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>▣ 通常のカーテンと太陽光を遮らばいい厚手のカーテンや遮光カーテンを併用して、教室内の明るさを調整できるようにしていますか。</li> <li>▣ 遮り下からの物が電子黒板の画面へ映り込む場合は、遮り下側にもカーテンを併用していますか。</li> <li>▣ 児童生徒自身が目の調節でカーテンを開け閉めして、明るさの調節ができるように整備していますか。</li> </ul>
	照り壁への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>▣ 距離を点けて電子黒板やタブレットPCを利用していますか。</li> <li>▣ 状況に応じて電子黒板付近の照明を消すことで、電子黒板への光の反射を軽減していますか。</li> <li>▣ 照明設備を改善する際には、遮光パネル、プリズムパネル、ルーバーなどにより電子黒板への映り込みを軽減することを考慮していますか。</li> </ul>
電子黒板	画面への映り込みの防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>▣ 電子黒板を窓に背を向けるように角度をつける、電子黒板の設置位置を窓から離すように移動するなど、配座環境に配慮していますか。</li> <li>▣ 距離を点けて、電子黒板が見やすい位置に椅子や机を移動するようにしていますか。</li> </ul>
	文字の見やすさへの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>▣ 距離を点けた状態でも十分な明るさを確保できるように、電子黒板の画面の明るさを調整していますか。</li> <li>▣ 明るい背景に濃い文字で表示するがタイプ表示をしていますか。</li> <li>▣ 教室の奥側にいる児童生徒にも見やすいように、電子黒板に表示する情報量を数小段に絞り、拡大機能を利用するなどして、文字の大きさに配慮していますか。</li> <li>▣ 電子黒板と座席列の児童生徒の目の距離を一定距離にしていますか。</li> </ul>

参照URL：

[http://www.mext.go.jp/component/a\\_menu/education/micro\\_detail/\\_icsFiles/afieldfile/2018/08/14/1408183\\_5.pdf](http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2018/08/14/1408183_5.pdf)





# 7. ICT環境整備について

- 教育ICTガイドブック Ver. 1（平成28年度）
- 教育ICTの新しいスタイル クラウド導入ガイドブック2016（平成27年度）
- 教育分野におけるクラウドを中心としたICT環境構築のための調達ガイドブック（平成27年度）
- 教育分野におけるクラウド導入に対応する情報セキュリティに関する手続きガイドブック（平成27年度）



## 【目次例】（教育ICTガイドブックより）

- はじめに
- 第1章 ICT環境の導入と構築
  - 第2章 ICT環境の運用
  - 第3章 ICT機器及びネットワーク環境に関する技術的要件の整理
  - 第4章 ICT環境の導入・運用にかかるコストを踏まえた段階的な方策
  - 第5章 ICTの特徴的な利活用
  - 第6章 災害時における学校ICT環境の活用
  - 第7章 実証校における取り組み事例と実証事業の成果
- おわりに

## 【ページ例】

**Active** 実践事例紹介 1人1台環境での大学と連携して授業

2015年4月に10の中学校への1人1台タブレット導入の取組が、2015年4月に10の中学校への1人1台タブレット導入の取組が、2015年4月に10の中学校への1人1台タブレット導入の取組が...

**Process** クラウドベースのICT活用を実現するプロセス

クラウドを中心としたICT活用により、学習環境を構築したことで、スタッフの業務が実現可能となりました。本冊では、クラウドベースのICT導入を導くための、その目的と具体的なプロセスについてご紹介します。

**Process 4** 運用段階

項目	リスク	対策例
学務的	授業内で授業中の遅延が起こる可能性がある	・対策例：生徒指導員を配置する ・緊急時対応による授業停止
	授業以外で授業中の遅延・遅延が起る可能性がある	・対策例：授業中の遅延・遅延が起る可能性がある ・緊急時対応による授業停止
人的	授業中の遅延・遅延が起る可能性がある	・対策例：生徒指導員を配置する ・緊急時対応による授業停止
	授業以外で授業中の遅延・遅延が起る可能性がある	・対策例：授業中の遅延・遅延が起る可能性がある ・緊急時対応による授業停止
セキュリティ	ウイルスに感染する可能性がある	・ウイルス対策ソフトを導入する ・ウイルス対策ソフト（シマンテック）を導入する
	外部から送信されたUSBメモリからウイルスに感染する可能性がある	・外部からの送信されたUSBメモリからウイルスに感染する可能性がある ・外部からの送信されたUSBメモリからウイルスに感染する可能性がある
個人情報	Webサイトやメールからウイルスに感染する可能性がある	・Webサイトやメールからウイルスに感染する可能性がある ・Webサイトやメールからウイルスに感染する可能性がある
	外部から送信されたUSBメモリからウイルスに感染する可能性がある	・外部からの送信されたUSBメモリからウイルスに感染する可能性がある ・外部からの送信されたUSBメモリからウイルスに感染する可能性がある
学務的	ネットワーク上の遅延が起る可能性がある	・ネットワーク上の遅延が起る可能性がある ・ネットワーク上の遅延が起る可能性がある
	外部から送信されたUSBメモリからウイルスに感染する可能性がある	・外部からの送信されたUSBメモリからウイルスに感染する可能性がある ・外部からの送信されたUSBメモリからウイルスに感染する可能性がある



# 9. 教育の情報化に関する手引

## ○ 教育の情報化に関する手引（平成22年10月）

### 教育の情報化に関する手引

平成22年10月  
文部科学省

### 【目次】

- 第1章 情報化の進展と教育の情報化
- 第2章 学習指導要領における教育の情報化
- 第3章 教科指導におけるICT活用
- 第4章 情報教育の体系的な推進
- 第5章 学校における情報モラル教育と家庭・地域との連携
- 第6章 校務の情報化の推進
- 第7章 教員のICT活用指導力の向上
- 第8章 学校におけるICT環境整備
- 第9章 特別支援教育における教育の情報化
- 第10章 教育委員会・学校における情報化の推進体制

### 【概要】

### 教育の情報化に関する手引【概要】

<b>第1章 情報化の進展と教育の情報化</b>	<b>第2章 学習指導要領における教育の情報化</b>	
<b>第3章 教科指導におけるICT活用</b> <ul style="list-style-type: none"><li>○教科指導におけるICT活用の考え方<ul style="list-style-type: none"><li>・効果を高める指導、環境等</li></ul></li><li>○教科指導におけるICT活用の具体的な方法や場面<ul style="list-style-type: none"><li>・学習指導の準備と評価のための教員によるICT活用</li><li>・授業での教員によるICT活用の教科等ごとの具体例</li><li>・児童生徒によるICT活用の教科等ごとの具体例</li></ul></li><li>○日常的なICT活用の準備<ul style="list-style-type: none"><li>・ICT活用と板書の連携、教室環境の工夫、研究・研修の重要性</li></ul></li></ul>	<b>第4章 情報教育の体系的な推進</b> <ul style="list-style-type: none"><li>○情報教育の目標と系統性<ul style="list-style-type: none"><li>・小学校段階での「基本的な操作」の確かな習得</li><li>・学校全体としての体系的な情報教育の推進</li></ul></li><li>○情報活用能力を身に付けさせるための学習活動<ul style="list-style-type: none"><li>・各学校段階に期待される情報活用能力</li><li>・情報活用能力の育成のための教科等ごとの指導例</li><li>・総合的な学習の時間におけるICT活用、情報に関する学習</li></ul></li><li><b>第5章 学校における情報モラル教育と家庭・地域との連携</b><ul style="list-style-type: none"><li>○情報モラル教育の必要性<ul style="list-style-type: none"><li>・よりよいコミュニケーションのための判断力と心構えの育成</li><li>・学校全体としての体系的な情報モラル教育の推進</li></ul></li><li>○情報モラル教育の具体的な指導<ul style="list-style-type: none"><li>・情報モラル指導の在り方(考えさせる学習活動の重視等)</li><li>・情報モラルの各教科等における指導例</li></ul></li><li>○教員が持つべき知識 ○家庭・地域との連携</li></ul></li></ul>	<b>第6章 校務の情報化の推進</b> <ul style="list-style-type: none"><li>○校務の情報化の目的<ul style="list-style-type: none"><li>・業務の軽減と効率化</li><li>・教育活動の質の改善</li></ul></li><li>○校務の情報化が生み出す学校の変容<ul style="list-style-type: none"><li>・管理職、教員、事務職員など立場ごとに業務効率化等の例を解説</li></ul></li><li>○校務の情報化の進め方モデル</li><li>○校務の情報化を進める上での留意点<ul style="list-style-type: none"><li>・教育委員会・校長のリーダーシップと教職員間の意義の共有</li><li>・仕事の見直し(公文書の扱いを含む)</li><li>・情報セキュリティの確保 等</li></ul></li></ul>
<b>第7章 教員のICT活用指導力の向上</b> <ul style="list-style-type: none"><li>○教員のICT活用指導力の重要性<ul style="list-style-type: none"><li>・すべての教員に求められる基本的な資質能力として</li></ul></li><li>○効果的な研修(校内研修、教育委員会・教育センター等による研修)<ul style="list-style-type: none"><li>・情報化担当教員(情報主任)、教務主任、研究主任等の連携による組織としての研修の実施</li><li>・研修ロードマップの作成等による、わがいを明確にした計画的な研修</li><li>・研修事例：授業、校務、マネジメント(管理職)</li></ul></li></ul>	<b>第8章 学校におけるICT環境整備</b> <ul style="list-style-type: none"><li>○学校における具体的なICT環境整備<ul style="list-style-type: none"><li>・普通教室におけるコンピュータ、実物投影機、デジタルテレビ、電子黒板、校内LANの整備 等</li><li>・学習用ソフトウェア(教育用コンテンツ)、校務用ソフトウェアの整備 等</li></ul></li><li>○学校におけるICT環境整備の推進、運用<ul style="list-style-type: none"><li>・必要な予算確保 等</li></ul></li></ul>	
<b>第9章 特別支援教育における教育の情報化</b> <ul style="list-style-type: none"><li>○小・中・高等学校等での特別支援教育における情報教育とICT活用</li><li>○特別支援学校における障害種別の情報教育とICT活用</li><li>○第3章～第8章の内容を踏まえた特別支援教育における配慮点</li></ul>		
<b>第10章 教育委員会・学校における情報化の推進体制</b> <ul style="list-style-type: none"><li>○教育の情報化の推進体制<ul style="list-style-type: none"><li>・教育委員会と学校が連携して(事務局～教育CIO(教育長など)、学校CIO(校長等の管理職)、ICT支援員等～)情報化の重要性・必要性への理解、マネジメント力、学校経営計画・学校評価等への位置付け</li></ul></li><li>○管理職に求められること<ul style="list-style-type: none"><li>・校内推進体制の構築(管理職、教務主任、情報化担当教員(情報主任)等の連携体制、カリキュラムコーディネータとしての情報化担当教員(情報主任)など)</li></ul></li></ul>		